

## 委員長挨拶

## 宮城県医師連盟として 全力で選挙支援を!!



宮城県医師連盟委員長  
佐藤和宏

### 今後の選挙日程について

令和5年10月には、県議会議員選挙があります。また総選挙がある可能性も否定できません。さらには、参議院選挙は2年後の夏にあり、石川光次郎県議が自民党公認候補に内定しています。私たち宮城県医師連盟としては、これら選挙に全力で支援すべきです。

### 医師が選挙支援をすべき理由

宮城県医師連盟のA1会員（開業医）の加入率は全国でワースト4です。すなわち、医師が選挙応援などを行うことに積極的でない方が多いのは事実です。しかしながら、私たちの生活と直接関わる診療報酬改定や物価高の補填、コロナの補助金や災害のときの医療機関への補助金などは、全て政治マターです。ご自分の生活と深く関わりますから、好き嫌いにかかわらず政治の世界に関心を持

ち、選挙支援をすべきだと思います。もちろん、そのようなことをしなくても、私たちの生活がうまく成り立っていれば良いのですが、30年前と比較して、次第に経営が厳しくなっていることは自明の理です。

現在も、マイナ保険証への切り替えの件、かかりつけ医の法制化の問題、医師の働き方改革の件、医薬品流通の問題、医療DXの件など、医療業界を取り巻く問題は山積しています。

### 医薬品流通の問題と「かかりつけ医機能が発揮できる制度整備」について

医薬品の流通、ことに後発医薬品の流通は、大きな混乱の中にあります。この原因は、国が後発医薬品使用率を80%に設定し強引に進めたこと、後発医薬品業界が体質的についていけず、死亡事故なども起こして、倒産やトップメーカーのADRの事態になったこと、そして原薬が中国やインドに依存していたことなどが挙げられます。これを解決するにはあと3年はかかるといわれていますが、やはり政治の力が大きく関係します。

かかりつけ医機能が発揮できる制度整備もそうです。当初、かかりつけ医の法制化をして、かかりつけ医を認定し、患者さんに事前登録をさせる案が出ました（2022年春の建議）。コロナ禍を盾にとった、筋の悪

い話であり、平時と有事を一緒にした話です。その後、日医、厚労省、内閣などの押し戻しがあり、今後2年間で細部を詰めますが、英国のGPのような制度にはならないと思っています。経過中、厚労族の議員が医師会側に立って、厚労部会で質問などを行ったことも忘れてはいけません。このように、政治の力を利用しなければ、どんどん私たちに不利な方策が押し進められます。

### 宮城県医師連盟としての方策

選挙のときだけ「よろしくお願ひします」といっても結果はついて来ません。普段からのお付き合いが大事です。7月1日に登米・気仙沼・栗原市医師連盟の主催により、栗原のエポカで小野寺五典先生の国政報告会が開催されました。またその前の6月10日には、執行委員会の報告会も仙台市で開催しました。各地域で県会議員の先生方、石川光次郎先生、国会議員の先生と集会を行います。また、加入率が低い点も何とかご理解いただき、加入していただきたいと思っています。誰かがやるだろう、ではいけません。会費は1年間で3万6千円（月3千円）です。必要経費ですので是非ご加入いただき、医療界を再興させましょう。よろしくお願ひ申し上げます。

## 都市医師連盟活動紹介

### ○登米・気仙沼・栗原市医師連盟

令和5年3月25日（土）17:30～ 登米市迫町佐沼「宮城第五選挙区 県議会議員と医師連盟委員長会議」  
1) 宮城第五選挙区国政報告会開催（案）について  
2) 今後の打合せ会について  
3) その他

### ○仙南6都市医師連盟

令和5年5月23日（火）19:00～ 柴田郡大河原町「仙南地区 宮城県議会議員・医師連盟打合せ会」  
1) 今後の連携について  
2) その他

### ○登米・気仙沼・栗原市医師連盟

令和5年7月1日（土）17:00～ 栗原市志波姫小野寺五典先生の「国政報告会」



都市医師連盟の活動報告をぜひ県医師連盟までお寄せください!!



令和5年6月10日

# 自見はなこ先生による国政報告会



左から小野寺五典衆議院議員、森田潔副委員長、自見はなこ参議院議員、八嶋副委員長、奥村常任執行委員



自見はなこ 参議院議員



宮城県議会議員の先生方



桜井 充 参議院議員



秋葉賢也 衆議院議員



森下千里  
衆議院比例区第一支部支部長



土井 亨 衆議院議員



伊藤信太郎 自由民主党・宮城県支部連合会会長による祝辞

令和5年6月10日（土）午後4時30分より、「自見はなこ先生による国政報告会」が開催された。伊藤信太郎自民党・宮城県連合会長や菊地恵二宮城県議会議長をはじめ、多数の政治家も出席した。自見はなこ参議院議員のこれまでの実績の他、「骨太の方針」についてなど、最新の国政について報告があった。出席者は総勢約100名にのぼった。

## 宮城県医師連盟執行委員会（令和5年6月10日開催）

表 令和4年宮城県医師連盟収支決算  
期間収支計算書（令和4年1月1日～令和4年12月31日）

収入	会費	21,534,000
	政治団体からの寄付 ※日医連交付金	4,705,500
	その他の収入 ※銀行預金利息等	210,514
	繰越金	30,723,690
	合計	57,173,704
支出	経常経費（A） （人件費、光熱水費、備品費、事務所費）	4,080,827
	組織活動費（B）	10,777,852
	・大会費	5,655,295
	・交際費	1,712,237
	・組織対策費	3,127,300
	・行事費	283,020
	調査研究費（C）	29,200
	寄付、交付金（D）	14,940,000
	合計（A）+（B）+（C）+（D）	29,827,879
	収入支出差引残 ※令和5年へ繰越	27,345,825



自見はなこ 参議院議員

登米祐也  
会計責任者職務代行者



安藤健二郎 副委員長



橋本 省 会計責任者



令和5年6月10日（土）午後4時より執行委員会を開催した。自見はなこ参議院議員も出席し、はじめに「令和4年収支決算」について報告と監査報告がなされ、全会一致で承認。「令和6年会費賦課」については昨年度同額、「郡市医師連盟活動助成金」についても昨年度と同様の計算方式により支給することが提案され、全会一致で承認された。また、赤石副委員長より「宮城県議会議員との連携」について説明があり、医師連盟会員と地元政治家との連携強化を目的とした会を郡市医師連盟が開催する際には会場費等の経費補助として10万円の助成金を支給する提案があり、全会一致で承認された。

# 菊地 恵一先生からご寄稿いただきました

## 第45代 宮城県議会議長



宮城県医師連盟の先生皆様は、日頃より地域の医療にご尽力いただいておりますことに、改めて敬意を表しますとともに、また、私ども県議会議員に対しても、私どもも指導を賜っておりますことに感謝申し上げます。

さて、佐藤和宏先生が委員長に就任されてから、羽生田たかし先生、自見はなこ先生お二人の選挙を担われました。羽生田先生の選挙の際には、佐藤先生みずから「羽生田応援ソング」を作詞して応援されましたし、自見先生の選挙でも連盟会員の先生方がこぞって運動に邁進されました。私ども県議会議員団としても、共に活動し、お二人の先生の当選に微力ながらお手伝いさせていただけましたこと大変嬉しく思っております。住民と地域の健康を支える医療の分野を担っていただき、また会員先生方の「業」として、さらなる発展を目指すためにも、

政治は大きな役割を担っているものと認識しております。

私ども県議会議員は最も直接的に地域の住民の方々に寄り添いながら、羽生田先生、自見先生、そして連盟の先生方と一層の連携強化を図り、地域と県と国をしっかりとつないでいくことが大切な役割と考えております。事実、6月10日の自見先生の国政報告会でも、医療や子どもたちを取り巻く環境の整備に向けて、県議会にも何件かの宿題も頂戴したところです。

折しも、この10月22日には私ども県議会議員の選挙が行われます。宮城県医師連盟会員の先生方には、各選挙区での当選に向けてご支援を頂戴いたしたく、心からお願ひ申し上げます次第です。

医療・福祉議員連盟所属の候補者につきまして、例えばクリニクに室内用ポスターを掲示いただくとか、ご家族、スタッフの皆様にもお声がけいただくとか、日々お忙しい中とは存じますが、何卒お力添えを賜りますようお願い申し上げます。当選させていただきましたならば、新しい任期でも議連メンバーとしてそれぞれにしっかりと活動させていただきます。

結びに宮城県医師連盟のますますのご発展と会員先生皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

## 宮城県議会 自由民主党・県民会議より

# 石川 光次郎先生からご寄稿いただきました

## 自由民主党・県民会議 医療・福祉議員連盟会長



新型コロナウイルス感染症の拡大が始まって3年余りが経過しました。この間、宮城県医師連盟の先生方におかれましては、昼夜を問わず医療現場の最前線でご奮闘いただいております。そのおかげさまで、収束に向けての一定の結果が出てきておりますことに衷心より敬意と感謝を申し上げます。

また、常日頃より佐藤和宏委員長さんをはじめ連盟の先生方には、宮城の医療行政と県民の健康増進に対し多大なるご支援と、我々県議会に対しても格段のご指導を賜っておりますことに重ねて御礼申し上げます。

さて、我々宮城県議会 自由民主党・県民会議は宮城県議会の最大会派として、様々な県政課題に対応するため、分野ごとに全員参加で議員連盟を組織し、それぞれの役員を中心に関係団体の皆さまと連携を取りながら課題克服にあたっているとところであります。

29ある議員連盟の中で、「医療・福祉議員連盟」は、その歴史が長く、数十年の長きにわたる医師会の先生方や他の医療・福祉分野の団体の皆様のご指導をいただきましたながら活動を続けてまいりました。特にコロナ禍においては、皆さまと歩調を合わせ現場の課題を行政に届けるために連携を密にしながら政治サイドでの働きかけをさせていただいてまいりました。

多岐にわたる医療・福祉分野を取り巻く課題を乗り越えて行政に反映させていくためには、地域医療の最前線で活躍をされておられる先生方と我々政治サイドの議員連盟が今まで以上に連携を深め、意思疎通を図り、情報を共有しながら、ことあたってまいらなければならぬと考えております。

そのためには、我々自由民主党・県民会議の同志が秋の厳しい戦いを勝ち抜いて、今まで通り県議会の過半数を維持し、空白区をなくしていかなければなりません。この戦いに向けて是非とも先生方の大きなお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、宮城県医師連盟の限りなくご発展と連盟の先生方のご健勝でのご活躍をご祈念申し上げます。

医政なくして医療なし!!

## 医師連盟に入りました!!

### 入会するにはどうすればいいの? 会費は?

宮城県医師連盟事務局までご連絡ください!

TEL : 022-227-0982

E-mail : miyairen@miyagi.med.or.jp

メールの場合は、件名を「医師連盟入会希望」としていただき、本文にご所属の郡市医師会、ご氏名、書類送付先をご記載ください。ご連絡いただきましたら入会書類をご送付いたします。

#### ○会費について

- ・会費：36,000円/年額(6,000円×6回)
- ・原則として指定銀行より引去でお願いしております。
- 引去月：6・8・10・11・12月・翌年2月
- 引去日：引去月の27日  
(27日が土日・祝日の場合は翌営業日)

※本連盟ニュースは医師連盟会員向けに定期的に発行している情報誌ですが、今回は医師連盟の組織強化の取り組みとして、医師連盟に未入会の医師会員の先生方にも広くお届けしております。



佐藤和宏  
宮城県医師連盟委員長



菊地恵一  
宮城県議会議員



森田 潔  
宮城県医師連盟気仙沼地区代表

令和5年2月16日(木)午後6時30分より、「宮城県議会議員と宮城県医師連盟及び郡市医師連盟との意見交換会」を開催した。会には、自由民主党・県民会議所属の宮城県議会議員30名、県医師連盟及び各郡市医師連盟の代表25名が出席した。各地区の県議会議員と郡市医師連盟の先生方が活発に交流し、地区ごとの結末が深まる大変有意義な会となった。

## 宮城県議会議員と宮城県医師連盟及び郡市医師連盟との意見交換会

### 自民党・宮城県連ホームページ情報 宮城県議会議員選挙

## 10月13日告示、10月22日投開票!! 自由民主党 公認・推薦候補者 (令和5年5月27日決定分まで反映)

選挙区・定数(市区町村)	種別	氏名	ふりがな
青葉(定数7) 〈仙台市青葉区〉	公認	福井 崇正	ふくい たかまさ
	推薦	愛知 加奈絵	あいち かなえ
宮城野(定数4) 〈仙台市宮城野区〉	公認	石川 光次郎	いしかわ みつじろう
	公認	松本 由男	まつもと よしお
若林(定数3) 〈仙台市若林区〉	公認	渡辺 勝幸	わたなべ かつゆき
太白(定数5) 〈仙台市太白区〉	公認	佐々木 幸士	ささき こうし
	公認	渡邊 拓	わたなべ ひろし
泉(定数5) 〈仙台市泉区〉	公認	外崎 浩子	とのさき ひろこ
	公認	遠藤 隼人	えんどう はやと
	公認	庄田 圭佑	しょうだ けいすけ
石巻・牡鹿(定数4) 〈石巻市・女川町〉	公認	佐々木 喜藏	ささき きぞう
塩釜(定数2) 〈塩竈市〉	公認	柏 佑賢	かしわ すけかた
気仙沼・本吉(定数2) 〈気仙沼市・南三陸町〉	公認	畠山 和純	はたけやま かずよし
	公認	守屋 守武	もりや もりたけ
白石・刈田(定数2) 〈白石市・蔵王町・七ヶ宿町〉	公認	横山 隆光	よこやま たかみつ
名取(定数2) 〈名取市〉	公認	村上 久仁	むらかみ ひさと

選挙区・定数(市区町村)	種別	氏名	ふりがな
角田・伊具(定数1) 〈角田市・丸森町〉	公認	八島 利美	やしま としみ
	公認	伏谷 修一	ふしや しゅういち
多賀城・七ヶ浜(定数2) 〈多賀城市・七ヶ浜町〉	公認	伊藤 吉浩	いとう よしひろ
登米(定数2) 〈登米市〉	公認	瀬戸 健治郎	せと けんじろう
栗原(定数2) 〈栗原市〉	公認	長谷川 敦	はせがわ あつし
	公認	高橋 宗也	たかはし しゅうや
東松島(定数1) 〈東松島市〉	公認	中島 源陽	なかじま もとはる
大崎(定数4) 〈大崎市〉	公認	菊地 恵一	きくち けいいち
	公認	佐々木 賢司	ささき けんじ
	公認	藤倉 知格	ふじくら ちかく
富谷・黒川(定数3) 〈富谷市・大和町・大郷町・大衡村〉	公認	中山 耕一	なかやま こういち
	公認	高橋 伸二	たかはし しんじ
柴田(定数2) 〈大河原町・村田町・柴田町・川崎町〉	公認	高橋 浩二	たかはし こうじ
亘理(定数1) 〈亘理町・山元町〉	公認	高橋 浩二	たかはし こうじ

## 編集後記

今年に入って、宮城県議会議員との意見交換会、執行委員会および見はなこ先生による国政報告会に加え、県北、県南での国政報告会や議員との懇談会が行われました。委員長挨拶にもあったとおり、普段から議員の皆さんと顔の見える関係にしておくことが、結局は我々のためになるのです。宮城県医師会の先生方には是非、宮城県医師連盟の仲間に入っていたいただき、皆でより良い医療を目指したいと思っております。

県医師連盟ニュース夏号をお届けします。以前から「医政なくして医療なし」と言われるとおり、私たちが目指す最善の医療は診療をしているだけでは実現不可能です。医学の進歩に追いついて最新、最良の医療を行うには、それに即した制度と財源の確保が必要であり、そのためには医政活動による政府・行政への働きかけが不可欠です。医政は医師の仕事、つまり医療に関わることであり、ひいては医療従事者全ての生活に関わることなのです。開業医、勤務医の別なく、全ての医師は政治に目を向けて協力していかなければなりません。



宮城県医師連盟会計責任者  
橋本省